

骨材情報紙

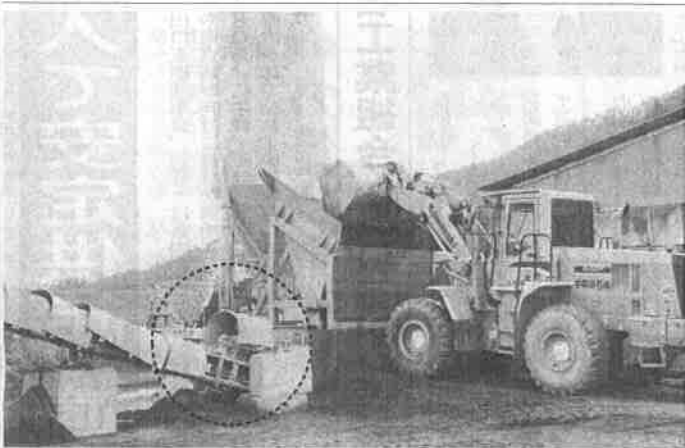
アグリゲイト

発行所 セメント新聞社

東京都中央区京橋3-12-7  
電話 (03) 3535-0621(代)  
FAX (03) 3535-5632  
URL http://www.cement.co.jp/  
購読料 1カ年 13,330円  
©セメント新聞社 2017

SSAB ハルドックス耐摩耗鋼板  
HARDOX® 400・450・500・550・600

スウェーデンスチール株式会社  
TEL. 03-3456-3447 FAX. 03-3456-3449  
URL http://www.ssab.com



湿式砕砂をホッパーに投入しベルコン上で碎石粉と混合する。奥は碎石粉のサイロ

砕石粉を添加した骨材は難航した。「他社のス  
のJIS認証は全国初と ラッジを燃やして粉状に  
みられ、前例がなく審査したものを砕砂に添加し  
製した商品  
(商品名・中  
央ファイラー)  
湿式砕砂と同  
一の採石場の  
原石から製造  
し、同じ成分  
であることを  
強調した」  
(松下晴彦事  
業支援部長  
代理)  
同社は砕  
石、湿式(ウ  
ェットサンド  
・WS)、乾  
式(スーパ  
ーサンド・S  
S)両砕砂で  
JIS A5  
005(コン  
クリート用砕  
石及び砕砂)



屋内ヤードで在庫

大阪府の支援で生産性向上  
生産面では15年末にホ  
ールミルを増設し、湿式  
砕砂の増産を図った。C  
Sの製造工程では横持ち  
した砕砂と碎石粉を専用  
プラントで混合・攪拌し  
ており、生産効率を高め  
るべく昨年10月に大阪府  
中小企業支援室のつづ  
きが発生し連続運転の妨  
げとなった  
ため羽根を  
撤去。ベル  
コン上に邪  
魔板を取り  
付けて耕起  
する方法に  
変更し、パ  
イプレータ  
ーで板を振  
動させて攪拌効果を高め  
た。  
品質管理では専用の屋  
内ヤード(最大容量10  
00トン)に在庫する。ヤ  
ードの満杯が続くと縁の  
部分が数カ月出荷されず  
塊になったり、製品の横  
持ちや積上げの際に重  
機で踏み固めたりするこ  
とがあった。ヤードにふ  
たつの山をつくり片方す  
つから出荷し、重機の運  
転にも注意するようにし  
た。表面水率はユーザー  
工場着6%程度で管理し  
ており、ダンパの荷台に  
残った雨水の影響を抑え  
るためタンプアップして  
からの積み込みを徹底し  
ている。

砕石粉添加骨材で全国初

中央砕石(大阪府高槻市、山本和成社長)  
は、1月18日付で一本使い可能な湿式砕砂  
「カクテルサンド(CS)」のJIS A5  
005(コンクリート用砕砂)認証を取得  
した。CSは生コンのワーカビリティ改善  
を目的に湿式砕砂に精製された碎石粉を添  
加して微粒分量を調整された製品で、通常の  
砕砂に比べて細骨材中の混合比率を高めら  
れる。ユーザーの大阪府内の生コン工場

た製品の申請事例はあつ  
たが、スラッジと砕砂の  
産地が異なる等により認  
められなかった。当社の  
CSに添加する碎石粉は  
乾式製造時の副産物を精  
製した商品  
(商品名・中  
央ファイラー)  
湿式砕砂と同  
一の採石場の  
原石から製造  
し、同じ成分  
であることを  
強調した」  
(松下晴彦事  
業支援部長  
代理)  
同社は砕  
石、湿式(ウ  
ェットサンド  
・WS)、乾  
式(スーパ  
ーサンド・S  
S)両砕砂で  
JIS A5  
005(コン  
クリート用砕  
石及び砕砂)

は昨年からCSを細骨材で100%使用し  
暑中や寒中を含め安定した品質の生コンを  
出荷する。「JIS取得をきっかけに山砂の  
品質・数量の安定供給が懸念される京都府  
内を中心に天然砂代替としての提案を加速  
し、月間1万トン以上の出荷を目指す」(坂井  
博文砕石事業部長)。並行してNETIS登  
録申請および出願中の製造特許について審  
査申請を行う考えだ。  
取得しており、昨年9  
月末に日本建築総合試験  
所に追加の形で申請し  
た。今回登録した製品規  
格は微粒分量5±2.0  
%。そのほかはWSと同

中央砕石「カクテルサンド」

一本使い砕砂JIS取得  
京都府内中心に提案加速

じで飽和密度2.5g/cm<sup>3</sup>  
、吸水率2.5%以  
下、安定性10.0%以  
下、粗粒率2.80±0  
、15、粒形判定累積率55  
%以上。  
CSの製品試験につい  
ては臨時審査において微  
粒分量以外の試験項目は  
元砂のWSの試験値採用  
を認められた。  
人工的に管理して製造  
するCSは天然砂に比べ  
て生コン工場内での貯蔵  
や横持ち等による粒度等  
の品質変動も少なく、一  
本使いしても特殊な混和  
剤は必要ないという。  
16年度(16年1~12  
月)の砕砂出荷量は月間  
平均2万2千トンで、この  
うち乾式1万5千トン、湿  
式7千トン。上期に新名神  
高速道路のトンネル吹付  
用のWSの出荷が終了し  
たが、CSの出荷開始で  
補った。17年度はCSを  
拡販して砕砂全体で月間  
3万トン、年間36万トン規模  
まで増やす方針。



ベルコン上での邪魔板による攪拌

現在CSを生コン工場  
場がCSの使用を検討し  
ている。「細骨材の混合  
使用が困難な中、小規模  
の生コン工  
場に対し、  
骨材サイロ  
の有効活用  
や計量時間  
短縮につな  
がる優位性  
を示し、段  
階的に混合  
比率を高め  
て一本使い

一本使いの優位性示す

現場がCSの使用を検討し  
ている。「細骨材の混合  
使用が困難な中、小規模  
の生コン工  
場に対し、  
骨材サイロ  
の有効活用  
や計量時間  
短縮につな  
がる優位性  
を示し、段  
階的に混合  
比率を高め  
て一本使い